

アメリカイリノイ大学とデザインgPBL

実施期間	実施国	共同実施機関	対象	参加者	本学担当教員
2025年10月23日 ~2025年11月04日	アメリカ	イリノイ大学	<ul style="list-style-type: none"> ・機械工学専攻、デザイン工学科、電気電子情報工学専攻 ・修士1年生、修士2年生、学部4年生、学部2年生、学部1年生、学部3年生 	(芝浦工業大学) 学生12名、学生バイト1名、 教員1名 (イリノイ大学) 学生10名、教員2名、職員1名	梁 元碩(デザイン工学科)



図1 オープニングデイ

「持続可能なデザインの未来」と題した10日間のワークショップがイリノイ州シカゴで開催され、芝浦工業大学(SIT)の学生12名とイリノイ大学アーバナ・シャンペーン校(UIUC)の学生10名が参加した。継続的な共同プロジェクトの3年目となる本ワークショップでは、シカゴとニューヨーク市における都市環境・公共施設の利用に関連する社会課題に焦点を当てた。参加者は現地調査のため様々な場所を訪問し、データ収集を行った。限られた時間枠にもかかわらず、学生たちは地域住民へのインタビュー、美術館・ギャラリーでの観察、環境課題に関する統計データの分析など、広範なフィールドワークを実施。これらの活動を通じて、共同で知見を統合し包括的な成果を生み出した。プログラム全体を通じて、多様な学術的・文化的背景を持つ学生たちが活発な議論を交わし、視点やアイデアを交換した。英語力の差が障壁となる場面もあったが、米国人学生の配慮とSIT学生の積極的な姿勢が円滑なコミュニケーションと協働を支えた。この交流は相互理解も深めた。UIUCの学生の多くが日本文化に強い関心を示し、東京訪問への意欲を表明。両大学間の今後の交流プログラムについて前向きな議論が展開された。



図2 フィールドワーク



図3 キャンパスツアー



図4 グループワーク



図5 最終プレゼンテーション